

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190503409		
法人名	社会福祉法人 創生会		
事業所名	グッドケア・平和通 めろん館		
所在地	札幌市白石区平和通16丁目北9番1号		
自己評価作成日	令和 5 年 12 月 9 日	評価結果市町村受理日	令和 6 年 2 月 6 日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103
訪問調査日	令和 5 年 12 月 28 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

令和5年4月1日より株式会社創生事業団から社会福祉法人創生会となりました。ホーム理念として掲げている『その人の今を大切に』に沿って皆様との時間を大切にしながら入居者様と生活しております。コロナウイルスが5類移行となり少ずつですが外出の機会が増えたり面会される事も増えてきております。施設内では、季節ごとの装飾を皆様と一緒に作成し飾り付けまで行い飽きない空間での生活を支援しております。皆様が参加できるようなレクを職員で考え実施し身体を動かし体力の維持にも努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念として「その人の今を大切に」としており、事業所内に掲示し、皆様がこれまで過ごされてきた事やこれから過ごされる時間を大切にし、その人らしく生活できる環境を提供できるよう心掛けております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルスやインフルエンザの影響により、入居様様が地域の行事等に直接参加する機会は少なくなっていますが、近所への散歩など人混みを避けつつ、地域への関心を向けてるよう支援しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などで認知症の方々に対しての理解を深める講話や、実際にホームで行っているケアの内容を報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防対策で運営推進会議は、書面での開催し、ホームでの取り組みや状況報告を行っております。頂いた意見などは、施設内で共有し支援に活かしております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホームでの日常の出来事、行事や事故報告、入居様様の様子を報告し、質問意見を取り入れています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内での身体拘束の研修や、ホーム内で勉強会を開き、職員全員で共有している。職員はお互いに何が身体拘束になるのかを意識し声を掛け合いケアを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修等で虐待防止について事例紹介を行ない、不適切な介護が行われない様にしていきます。また、事業所内の会議等で個別事例の検討をおこなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内にて定期的に研修を開催し、職員全体で日常生活自立支援事業や成年後見人制度を把握できるように学ぶ機会を設け、それらを活用できるように努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面内容について分かりやすく説明し、質問などを受ける時間も作りながら納得して頂き契約を交わしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナウイルスの影響で面会制限があった為、定期的に電話にて状態報告を行い、その際に意向などを聞く機会を設けております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業所内での会議、ユニット会議の他、朝、夕の申し送り時間を設け職員が意見を言い易い雰囲気作りを心掛け、困っている事がないか随時、確認を行っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月1度管理者会議の中で、各事業所管理者との交流や情報収集、意見交換や事業所の職場環境や整備に活かしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月一回の研修会を設け、職員の介護に対する知識向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会との連絡会はコロナ感染対策の為、開催されていませんでした。法人内での他グループホームとの情報・意見交換を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	毎日の家事やレクリエーション等、一緒になり楽しむ事でお互いの関係性を築いております。その中で一人一人の思いを汲み取り共感するように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される前から情報を収集、希望や要望を伺うようにしております。また、施設の様子や活動状況を報告し、より良く知って頂く事で信頼関係を構築しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前から話し合いを行い情報共有し本人様、家族様が今必要としている支援を双方納得できる形で提供できるように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の生活歴や主体性を尊重し、出来る事は、ご自身で行える環境を整え共に暮らしていくパートナーとして関係を築いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様、本人様の信頼関係が円満に進むようサポートし、本人様の状態、変化を伝え家族様との関係を築いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様との関係継続が図れるように、面会が困難な時期であっても広報誌や電話連絡で日々の様子やエピソードを伝えていくよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士で話が出る様に席を配置したり、お一人で過ごされる方には、職員が傍についてお話しできる環境作りに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も必要に応じて相談や要望に対応できるように配慮し努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で交流を大切に、その中で個々の思いや希望を汲み取るよう努めている。言語表現が困難な場合は、表情や動作などから意向を把握できるように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前は、家族様から可能な限りの情報収集に努め、入居後は、ご本人様に昔の話を聞くなどし常に情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日、その時での状況に見合った過ごし方が出来る様、また、できることは手伝ってもらうなどして今、何がどこまで出来るのかの把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様が発している声に耳を傾け、問題に対して家族様、主治医などから情報を収集し、現状に合った計画書が作成できるよう努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録、そして入居者様本人の言動を記録する事を行っている。その他、様子や出来事なども記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族様の状況や希望により、必要に応じて入居者様の買い物や代行している。救急搬送や病院受診は、家族様対応ですが状況により職員が対応することもあります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ここ数年コロナ禍だった為、個々に合った地域資源の利用ができていませんが、訪問理美容や訪問診療を受けられるように支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様の情報を三者が共有しつつ、互いに相談しながら、必要かつ適切な医療が受けられる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度、訪問看護師がきており、1週間の様子や相談内容を書面で渡し、医学的見地から入居者様の気になったこと、その時の状態に応じて、どのように見ていくなどアドバイスを受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	必要時には、病棟看護師やソーシャルワーカーと情報交換や相談をし、退院前に面会やカンファレンスに参加するなどしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができる十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療機関と連携し、家族様や本人の希望に沿った終末期を迎えられるよう、チームでも情報共有をし、目標を立てながら実践しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回は、研修を行い必要に応じて手順について話したりマニュアル作成をし目を通すようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議で町内会・家族様からの情報を得て、避難マップを準備し、災害を想定した訓練や話場を設けております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に声を掛ける際の呼び方や排泄時の対応など尊厳など損なわれない様に配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の理解力や精神状況を把握したうえで対応している。理解力の低下している方でも選択肢を出すなど自ら決定できるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースでの支援にならない様、入居者様のペースに合わせて支援できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	コロナウイルスの影響で不定期になってますが、訪問理美容を利用して日々の身だしなみにも清潔感を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力や心身の状態、メニューに応じて盛り付けや洗い物など出来ることを分担し行っております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲食は、時間に囚われず、好みを把握しながら勧める努力をしている。盛り付け時に妥当かどうか本人様にも確認したり、事前に量を調整したり補食。また、形状や形態の工夫を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科を利用している他、毎食後に口腔ケアを実施している。歯間ブラシなど細かい部分に関しては、状況に応じてお手伝いさせていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要に応じて定時誘導したり、普段から排泄表を使用しパターンを把握する工夫をしています。また、場所がわからない方の為に張り紙や案内を設置し位置が分かりやすいようにしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分、運動による自然排泄に努めておりますが、便秘時には、薬を使用しての排泄に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の個々の希望に沿った入浴が出来るように支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様個々の生活ペースに合わせ、リビングでの休息や居室での休息を支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の心身状況に応じて、主治医と連携し検討しながら良い状態を保つ様努めております。また、薬局からの処方箋等は、すぐに確認できるようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の今現在の能力が引き出せるように支援を行っております。毎日の食事やおやつ提供は、日々の楽しみになるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で戸外に出る事は、減少しておりますが天気が良い日には、外に散歩に行き花々を觀賞しております。面会時には、感染対策を行いながら対応し馴染みの関係が途切れない様に家族様にも協力して頂きながら支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様や本人様の希望により少額のお金を持たれる方もいますがコロナウイルスの影響で買い物は、できておりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話を掛けたり取り次ぐ支援しております。手紙や荷物が届くと手渡し一緒に読んだり、開封したりし、能力に応じて手紙や葉書を読み上げる支援もしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには、皆様と一緒に作成した季節の制作品を飾り付け心地よく落ち着いて生活できる空間作りを心掛けております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人様の好みに合った音楽を流したり、食席を気の合う方と配置したり本や新聞を勧めるなどして支援しております。ソファに座り外を眺めたりひなたぼっこをされてりと落ち着いて過ごされております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人様や家族様の希望に沿った使い慣れた家具を配置しております。懐かしめる写真や小物なども飾りつけしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレ、浴室などには、用途に合わせた名札や目印を設置し混乱されない様に支援しております。安全に移動が行える様に環境整備にも配慮し手すりも見やすい位置に設置しております。		